

柴田さん（左）が建設業について学んだ



建設業の魅力伝える

平田建設 帯広工生受入れ

【帯広免】(株)平田建設(土
嶌、長谷川雅毅社長)は2
日から3日間、帯広工業高
校のインターシップに協
力した。道路改良や防雪柵
設置、農業の基盤整備など
の現場を案内。光波測量機
器の使用やドローン操作と
いった現場の仕事を通して
建設業のやりがいや魅力を
伝えた。

同社では毎年インター
シップに協力。今回は2日
から3日間、帯広工業高環

境土木科2年の柴田李都さ
んを受け入れた。

初日は、建設業界と会社
について説明したあと、同
社施工で帯広開建発注の
一般国道241号土幌町
中土幌防雪柵設置外一連工
事と「笹川地区笹川幹線
排水路笹川北6線南工区工

事」の現場、同社帯広支店
の土質試験室を見学。2日
目は「北海道横断自動車道
陸別町敷弥別北道路改良工
事」で測量実習とドローン
操作体験を行った。

3日目は「新川二期地区
第1集水路下流工区工事」
において、橋脚を解体し架
け替えとなる一連の流れを

ARで確認。実際の現場の

進め方や光波測量機器を使
用した作業を体験させた。

柴田さんは「初めて見聞
きることが多くとても充
実した3日間だった。初め
てドローンを操作したが意
外と簡単に操作できたこと
に驚いた」と感想を述べ
た。

主に指導に当たった「北
海道横断自動車道陸別町敷
弥別北道路改良工事」現場
代理人の八代道隆氏は柴田
さんに「大変なこともある
がその分やりがいも大き
い。年々働きやすくなって
いるので安心してこの業界
に来てほしい」とエールを
送った。